被表彰者功績

被表彰者 （現職名）	功　績　内　容
大島（おおしま）　一行（かずゆき）（59） （高岡市立野村小学校長） 	高岡市立伏木小学校では、地域のよさや教育力を最大限に生かす教育活動の展開に力を注ぎ、伏木遠泳大会や能「高砂」の発表など、学校の伝統を守り、学校と家庭、地域社会との信頼関係の構築に努めた。 高岡市立野村小学校では、これまでの教職経験に加え、教育行政等での経験を生かし、「豊かな心と健康な身体をもち、自ら学びたくましく生きる子供を育てる」の実現に向け、重点目標に「自ら楽しむ子供を育てる」を掲げ、「子供の人権を守る」「主体性を育み、対話を楽しむ」「信頼される学校」を基盤として、児童一人一人の主体性を生かす、楽しい学校づくりに取り組んでいる。 令和８年度は、富山県小学校長会長として、学校の教育活動の質と量、働き方改革の推進、増えているいじめや不登校への対応等について、県内公立小学校の各校長の意見を共有化しながら、関係機関と調整を図り、本県小学校教育の振興・発展に尽力している。
山尾（やまお）　佳充（よしみつ）（59） （富山市立芝園中学校長） 	富山市立大泉中学校では、「自ら考え表現する生徒」の育成を図るために、「付けたい力を意識した学習課題の設定」や「付けたい力を意識した振り返り」に重点を置く授業づくりを推進した。 富山市立芝園中学校では、学校現場や教育行政機関で培ってきた豊富な経験を生かし、リーディングＤＸ事業の指定研修を発展充実させるとともに、教職員の負担軽減策を実行するなど、教員の働き方改革を推進しており、教職員の在校等時間の削減という形で表れている。 令和８年度は富山県中学校長会長の職に就き、校長会事業の企画運営や連絡調整について自らの経験をもとに適切に助言を行うとともに、他県の校長会長との会合において積極的に情報交換し、意見を交わすなど、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校運営体制の構築を推進している。
亀谷（かめたに）　卓朗（たくろう）（59） （富山県立高岡高等学校長） 	令和３年４月県立滑川高等学校長に着任。学力教養の充実、健全な心身の育成、豊かな個性の確立を教育目標として、教職員一人ひとりの適性等を的確に判断し校務運営に活かすとともに、普通教室の空調設備設置や校舎の長寿命化改修工事など、生徒が学ぶ施設の環境整備に尽力した。 令和５年４月県立魚津高等学校長に着任。「明るい協力、撓まぬ勉強」の校訓のもと、柔軟に物事を考え、新しいことにチャレンジする教員を積極的に後押しするなど、風通しのよい職場環境づくりに努めた。 令和７年４月県立高岡高等学校長に着任。伝統的な校風である質実剛健・自主自律の精神のもと、全国的にも高い評価を受けている教育実践をさらに確固たるものとし、日々尽力している。 また、令和５年度より、富山県高等学校野球連盟の会長として高校野球の発展向上に尽力した。令和８年度からは富山県高等学校長協会会長として本県教育活動のさらなる充実向上に大いに貢献している。